

## 自民役員人事

# これが「再生」の姿か

総裁選勝利の後、国政に示す  
といった「生まれ変わった自民  
党」の姿がこれなのか。有力者  
をおもんばかり、現金授受疑惑  
の説明責任をまだ果たしてい  
ないベテランに、党運営の要を  
託す人事を見せられては、その  
決意も疑わざるえない。

自民党の岸田文雄総裁が新た  
な党役員を決めた。衆院当選3  
回の福田達夫氏を総務会長に起  
用し、総裁選で訴えた「中堅若  
手の登用」は果たした。だが、  
主要な人事は論功行賞であり、  
党内最大派閥に影響力をもつ安  
倍前首相と、第2派閥を率いる  
麻生太郎副総理兼財務相の後ろ  
盾を期待した布陣といえる。

幹事長に選んだ甘利明氏は、  
安倍、麻生両氏の盟友だ。総裁  
選では岸田氏を支持し、安倍、  
麻生両氏との連絡役として、當  
選に貢献した。政調会長に充て  
た高市早苗氏は、決選投票で連  
合を組んだ相手であり、高市氏

を全面支援した安倍氏への配慮  
は明らかだ。

政権基盤の安定を優先した結  
果、園芸去りにされたのが、岸  
田氏が強調したはずの政治への  
信頼回復である。

幹事長に就く甘利氏は、第2

次安倍政権で経済再生相を務め  
ていた5年前、現金授受疑惑を  
報じられ、閣僚を辞任した。自  
身や秘書が口利きの見返りに建  
設会社から現金を受け取ったと  
して、あっせん利得处罚法違反  
などの疑いで告発されたが、嫌  
疑不十分で不起訴となつた。

ただ、同法は立件の要件が厳  
しく、抜け道が多いと批判され  
てきた。刑事責任を問われなか  
つたからといって、説明責任や  
道義的責任がなくなるわけでも  
ない。にもかかわらず、甘利氏  
自身の口から、きちんととした説  
明は「まだなれていない」。

甘利氏はきのうの記者会見  
で、説明責任を果たすべきだと  
の指摘に対し、「捜査機関が出  
した結論以上のものは出せな  
い」とにじもなかつた。選挙資  
金の差配にも大きな影響力を持  
つ幹事長がこれでは、河井案里  
氏側に渡した1億5千万円の使  
途のチェックも心もとない。

今回の人事では政治団体の不  
明朗な会計処理の問題で経済産  
業相を辞任し、元秘書が政治資  
金規正法違反（虚偽記載など）  
で有罪となつた小瀬優子氏も組  
織運動本部長に起用された。

党改革の柱に「政治とカネ」  
の問題をあげ、丁寧な説明と透  
明性の確保を掲げた岸田総裁で  
ある。きのう記者団に、甘利氏  
の問題について、捜査で結論が  
出てくるという一方、「国民か  
ら疑問があつたら、本人が丁寧  
に説明する姿勢が大事だ」と述べた。ならば、週明けに召集さ  
れる臨時国会で、野党の求める  
招致に応じ、国会で説明責任を  
果たさせるべきだ。